@IT
atmarkIT

ITmedia AI Developer Live 2026 秋

AIネイティブな開発組織への変革

開催日　　：2026年12月2日(水)
一次申込締切：2026年[illegible]月[illegible]日(金) 締切済み
最終申込締切：セッションプラン…2026年11月2日(月)
　　リストプラン　　…2026年11月25日(水)

開催概要

名称	**ITmedia AI Developer Live 2026 秋** **AIネイティブな開発組織への変革**
開催日	2026年12月2日(水)
一次申込締切	2026年11月28日(金) **締切済み**
最終申込締切	セッションプラン：2026年11月2日(月) リストプラン　　：2026年11月25日(水)
申込者数	想定700名 **※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます。**
想定視聴者属性	• **ユーザー企業/SIerの開発部門長/担当者** • **自社のビジネスを支えるシステム開発を担う ユーザー企業の担当者** • **顧客のビジネス課題を技術で解決するITアーキテクト /ITアーキテクトを目指す方**　など
ご協賛プラン	セッションプラン　｜220万円～ リストプラン　　｜190万円～
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画	@IT atmarkIT
告知・集客	@IT atmarkIT　ITmedia NEWS　ITmedia AI+
運営	アイティメディア株式会社

概要	**AIトランスフォーメーション**が不可逆の流れとなった今、 **ソフトウェア開発・運用**は**AIを前提として設計**する時代へと 突入しています。AIの可能性と複雑性を制御し、 望ましい成果を生み出すには、**エンジニアリングの重要性**は むしろ高まる一方です。本イベントは、 そんな**AI時代の「新たなプロフェッショナル」＝AI Developer**の 羅針盤となることを目指します。 2026年秋は、**AIエージェントとの協働**を前提に、 生産性・品質・安全性を担保しながら、エンタープライズにおける **AIネイティブ**な開発・運用組織を実現するためのポイントを 紹介します。AIが作業し、エンジニアがコントロールし、 人間が創造性を発揮する、**新たなソフトウェア開発のスタンダード**を、 ともに探っていきましょう。
開催テーマ	**テーマ1｜AIによる開発生産性向上** # AI駆動開発　# コーディングエージェント # 開発生産性　# 開発組織変革　など **テーマ2｜開発AIのガバナンスとセキュリティ** # DevOps　# シフトレフト # DevSecOps　# CI/CD　など **テーマ3｜AI駆動開発と品質・安全性** # 仕様駆動開発　# AI品質 # AI-DLC　# 開発品質　など **販売終了** **テーマ4｜AIプロダクト開発** # AIアプリケーション開発　# プロダクトマネジメント # AIエージェント　# UI/UX　など

一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

過去実績

名称	ITmedia AI Developer Live 2026 夏 ～AI時代、エンジニアは何を学び直すべきか～
開催日	2026年9月9日（水）～9月10日（木） ※9月17日までアーカイブ配信
対象	ユーザー企業/SIerの開発部門長/担当者、自社のビジネスを支えるシステム開発を担うユーザー企業の担当者 顧客のビジネス課題を技術で解決するITアーキテクト/ITアーキテクトを目指す方 など
主催	@IT
全申込者数	781人
参加者数	660人

協賛 （※50音順）	● アトラシアン株式会社 ● SB C&S株式会社 ● NTTテクノクロス株式会社 ● エムオーテックス株式会社 ● JFrog Japan株式会社 ● 株式会社セールスフォース・ジャパン ● テックファーム株式会社 ● Datadog Japan 合同会社 ● 株式会社 日本HP ● 株式会社日立ソリューションズ ● ブラック・ダック・ソフトウェア合同会社 ● 株式会社ベネッセコーポレーション ● レッドハット株式会社 ● レノボ・ジャパン合同会社
基調講演	**基調講演1** **いまさら聞けない「AI駆動開発」** **- AI駆動開発の基礎から最新トレンドまで** クリエーションライン株式会社 CTO **荒井 康宏 氏** **基調講演2** **AIは"書ける"、しかし"出せる"か？** **品質とセキュリティを仕組みで担保するAI駆動開発** 株式会社デンソー クラウドサービス部 アジャイル開発課長 **佐藤 義永 氏**
申込みページ	https://members10.live.itmedia.co.jp/library/MTA2ODM3?group=2609_AIDeveloperLive
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-10-04/2d49ygp

© ITmedia Inc.

テーマ1｜AIによる開発生産性向上

｜概要

AIの導入により**開発スピード**は飛躍的に向上した一方で、「**速くなった実感**」と「**組織としての成果**」が一致しないケースも増えています。

本テーマでは、**AIエージェントとの協働**を前提とした**開発プロセスを再設計**し、**生産性向上**を錯覚で終わらせず、
実際の**価値創出**につなげるためのアプローチを探ります。個人最適にとどまらず、**チーム・組織として成果を最大化**するための実践知を提示します。

｜キーワード

AI駆動開発
開発生産性
開発組織変革
コーディングエージェント
コラボレーションツール
プロジェクトマネジメント

｜視聴者の抱える課題

- AI駆動開発の導入を成功させたい
- AI駆動開発を導入したのに効率が上がらない
- AI時代に開発組織をどう再編するかべきか知りたい

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

テーマ2｜開発AI環境を守るガバナンスとセキュリティ

｜概要

AI活用の拡大とともに、**OSS**や**AIライブラリ**、**CI/CD環境**を狙った**ソフトウェアサプライチェーン攻撃**が急増しています。
AI時代の開発環境では、コードだけでなく、**モデル**や**依存パッケージ**、**AIエージェント**そのものも新たな攻撃対象となりつつあります。

本テーマでは、**クラウドネイティブ**や**DevSecOps**の観点から、**AI時代の開発基盤**をいかに安全かつ継続的に運用するかを探ります。

｜キーワード

DevOps
DevSecOps
シフトレフト
CI/CD
APIマネジメント
プラットフォームエンジニアリング
SRE
クラウドセキュリティ
脆弱性管理
SBOM

｜視聴者の抱える課題

- OSSや開発エージェントを活用したいが、安全性の担保がなく不安
- インシデントが発生した時に、迅速に影響範囲を特定し、隔離などの対策を打ちたい
- AI時代に耐えうる効果的なクラウドネイティブセキュリティのポイントを知りたい

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

テーマ3｜AI駆動開発と品質・安全性

｜概要

AI駆動開発の普及により、**コード生成**や**自動化**は加速する一方で、**品質のばらつき**や**検証の難しさ**といった新たな課題も顕在化しています。
AIが関与するシステム開発の信頼性や安全性を担保するため、従来のテストやレビューに加え、**AI-DLC（AI Driven Development Lifecycle）**や**ハーネスエンジニアリング**といったアプローチも登場しています。

そこで本テーマでは、最新動向の紹介と現実的な実践の両輪で、**スピードと品質・安全性を両立**するための勘所を探ります。

｜キーワード

仕様駆動開発
AI-DLC
AI品質
開発品質
コードレビュー
テスト自動化
LLMOps

｜視聴者の抱える課題

販売終了

- AIによるソフトウェア開発の品質を向上させたい
- 開発品質を安定させるプロジェクト設計のコツを知りたい
- AI生成コードの品質管理を確立したい

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

テーマ4｜AIプロダクト開発

｜概要

AIを活用したアプリケーションやサービスの開発が進む中で、その価値をいかに**プロダクトとして成立**させるかが新たな課題となっています。
モデルの性能だけでなく、**ユーザー体験の設計**や、**LLMOps**による**継続的な改善**、**コスト管理**、**信頼性の確保**など、考慮すべき論点は多岐にわたります。

本テーマでは、**AIをプロダクトに組み込むための設計・実装・運用**の実践に焦点を当て、
エンタープライズにおいて価値を生み出し続けるためのアプローチを探ります。

｜キーワード

AIアプリケーション開発
AIエージェント
プロダクトマネジメント
UI/UX
ローコード・ノーコード
内製化
AIでビジネス価値創出

｜視聴者の抱える課題

販売終了

- AIを活用して、どのようにビジネスプロセスを再構築し、具体的な価値を創出するのかがわからない
- AI時代のプロダクトマネジメントやUI/UX設計の考え方を知りたい
- ローコード・ノーコードツールも活用しながら、AIアプリケーションの内製化を推進したい

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

タイムテーブル

12月2日(水)

テーマ1｜AIによる開発生産性向上
テーマ2｜開発AI環境を守るガバナンスとセキュリティ

時間	枠時間	
13:00〜13:30	30分	**基調講演1** (AIによる開発生産性向上)
13:40〜14:10	30分	**スポンサーセッション1** DAY1-1-S101
14:20〜14:50	30分	**スポンサーセッション2** DAY1-1-S102
15:00〜15:30	30分	**基調講演2** (AIによる開発生産性向上)
15:40〜16:10	30分	**スポンサーセッション3** DAY1-1-S103
16:20〜16:50	30分	**スポンサーセッション4** DAY1-1-S104
17:00〜17:30	30分	**基調講演3** (開発AI環境を守るガバナンスとセキュリティ)
17:40〜18:10	30分	**スポンサーセッション5** DAY1-2-S105

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

© ITmedia Inc.

デジタルイベント協賛予約システム

ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！

申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です

ご予約はこちらから▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=159

ご協賛枠の予約受付完了までの流れ

※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です

カレンダーから WEB予約

- 仮押さえ → 予約（予約方法はこちら）
- 決定 → 予約（予約方法はこちら）

予約完了メール受信

- 枠の移動
- 決定
- 枠の移動
- キャンセル

予約完了メールのリンクから変更

お問い合わせフォームから

決定後の枠の移動には一度キャンセルが必要です

ご協賛決定 営業担当からご案内いたします

カレンダーの見方

ご利用ガイド

■ **ご協賛を決定いただいたお客様**
- 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。

■ **仮押さえ有効期限について**
- ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
- ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
  4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
- 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
- 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

■ **キャンセルに関して**
- キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
- イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。

■ **予約の変更に関して**
- 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

© ITmedia Inc.

ご協賛メニュー

	セッションプラン			リストプラン	
	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー	全リスト	テーマリスト
｜スポンサーセッション	●	●	●	ー	ー
｜セッションアンケート	●	●	●	ー	ー
｜資料配布	●	●	●	ー	ー
｜視聴者リード（**全件納品**）	●	●※	ー	ー	ー
｜視聴者リード（**上限あり**） └アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象	ー	ー	●※ （上限あり）	ー	ー
｜協賛テーマ申込者リスト	● （上限なし）	● （上限あり）	ー	● （上限なし）	● （上限あり）
｜全申込者リスト（全件納品）	●	ー	ー	●	ー
｜スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
｜事前アンケート結果	●	●	●	●	●
｜開催報告書	●	●	●	●	●
｜Pipeline Dashboard	●	●	●	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数）	**700件想定**	**350件想定**	**250件想定**	**700件想定**	**350件想定**
備考	※リスト件数は想定数です	※450件上限 ※視聴者リードは上限を超えても全件納品	※300件上限	※リスト件数は想定数です	※450件上限
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります				
料金　（すべて税別・グロス価格）	**¥3,300,000-**	**¥2,500,000-**	**¥2,200,000-**	**¥2,300,000-**	**¥1,900,000-**

※　プラチナプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して：視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。
※　視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

© ITmedia Inc.

ご協賛メニュー詳細

スポンサーセッション

■ 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。

セッションアンケート

■ 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。

■ 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせて自由に設定可能。

■ アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

資料配布

■ 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。

■ 配布点数：
ご講演資料＋3点まで

■ PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

視聴者リード

■ 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。

■ ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレス
などの名刺情報

※DL可能
※視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

協賛テーマ申込者リスト

■ 協賛テーマ申込者のリード情報をご提供。
■ ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
※事前申込時に該当テーマを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

全申込者リスト

■ イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。

■ ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・
役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

スポンサーロゴ掲載

■ イベントの集客サイトに貴社のロゴを
掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。

■ 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

事前アンケート結果

■ 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

開催報告書

■ アイティメディアで参加者へアンケートを実施。集計結果を開催報告書として
会期終了後にご提供。

■ 個人情報は含まない集計データでの
ご提供。

Pipeline Dashboard

■ ナーチャリング支援の新ツール（無償）
■ “イベント終了後に生まれる商談機会”を見逃さないための仕掛けです
■ 詳しくは資料もご覧ください

※ サービスガイド
https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-09-24/2d2rxv2
※ サービスサイト
https://promotion.itmedia.co.jp/service/cc/pipeline_dashboard

※画像はイメージです。

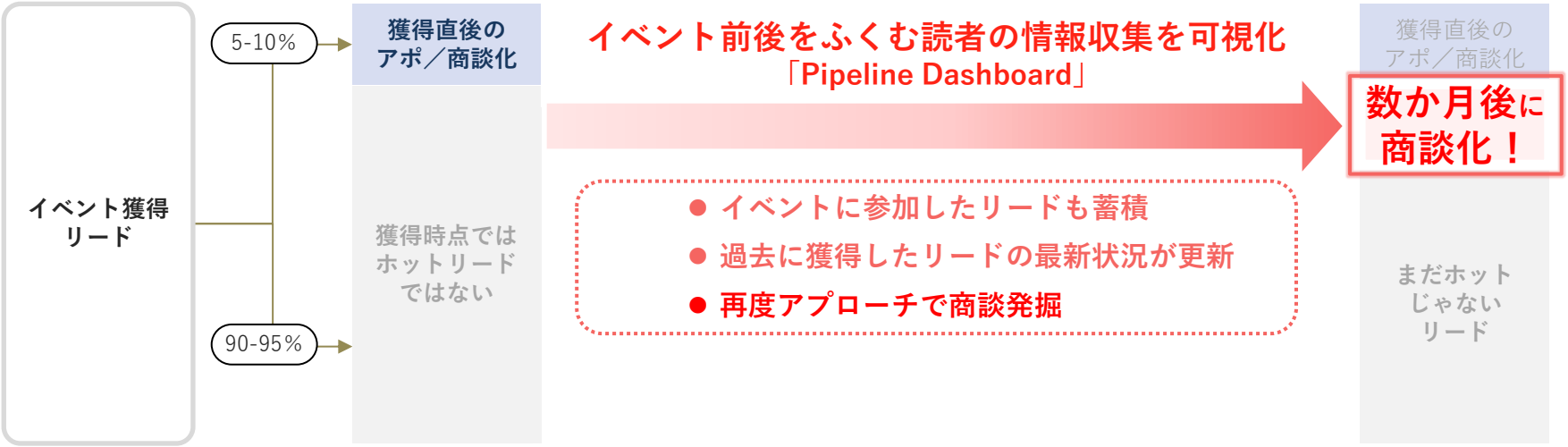
© ITmedia Inc.

ナーチャリング支援ツール「Pipeline Dashboard」のご紹介

“イベント終了後に生まれる商談機会”を見逃さない

これからは、獲得してすぐにアポや商談にならなかったリードも無駄になりません。
資産として蓄積され、納品後の動きもダッシュボードに反映されます。
アイティメディアで情報収集してナーチャリングされたリードに再度アプローチをすれば、効率的な商談発掘に繋がります。

イベントにご協賛いただくと「Pipeline Dashboard」も無料で利用可能



- イベントに参加したリードも蓄積
- 過去に獲得したリードの最新状況が更新
- 再度アプローチで商談発掘

適切にナーチャリングできず放置してしまうと、
競合ベンダーから購入されてしまい機会損失へ

イベント直後に限らず、追加の商談化を
狙って継続的にアプローチが可能！

イベント協賛にまつわる課題（リードから商談に繋がらない、ナーチャリングで成果が出ない）を解決

実績

約1年前に開催した
イベントのリード

1年経過した「今」の状況

情報収集を継続中
前回参加者の**約48%**

自社導入に関与する	導入予定が１年以内
約43%	約8%

※2026年6月時点

© ITmedia Inc.

スポンサーセッション動画のTechLIVE掲載について

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia

イベント終了後
TechLIVEへ転載

③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

掲載動画イメージはこちら

TechLIVE by ITmedia

https://techlive.itmedia.co.jp/

「今を動かすテクノロジー」を
深掘りする動画プラットフォーム

- 専門編集者による番組コンテンツ企画
- テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り
- 視聴者リードの獲得が可能

詳細はこちら

※画像はイメージです。

© ITmedia Inc.

スポンサーセッション動画のTechLIVE掲載について 詳細

- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
  - **掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。**
  - **ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。**
- **掲載対象動画**
  - **当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）**
- **掲載開始時期**
  - **ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）**
- **掲載費用**
  - **無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）**
- **動画の取り扱い**
  - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
  - **一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）**
  - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
    - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
    - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
  - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
  - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
  - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
  - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

© ITmedia Inc.

オプションメニュー

申込締切日

貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

セッション収録サポート

開催18営業日前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の18営業日前までのお申込み必須。
- 最大講演者数は3名まで、講演者数に関わらず収録費用に変動はございません。
- 撮影パターンの詳細は資料をご確認ください。
- mp4納品を含みます。

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-08-04/2d42c12

料金 **¥300,000～**

リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2

料金 **¥200,000**

納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

※ 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

リード カスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy

料金はリード件数によって変動

アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

※ 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh

料金 **¥2,500,000**

テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3~4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画（1分以内を推奨、最長2分まで）の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv

料金 **¥500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

© ITmedia Inc.

オプションメニュー

申込締切日

｜セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv

料金 **¥300,000~**

｜レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy

タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000~**

｜レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

｜セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn

DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

｜パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

※ 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5

料金 **¥3,000,000**

価格・割引率はご協賛イベントによって変動いたします。

｜カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
  1. チェックボックス設置（1個/社）
  2. パーミッションテキスト追加
  3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

※ 詳細：https://go.itmedia.co.jp¥l¥291242¥2025-06-02¥2d2cgrk

料金 **¥50,000~**

｜CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

※ 詳細： https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq

料金 **¥300,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

© ITmedia Inc.

お申し込みからの流れ

確定したスケジュールはイベント事務局よりご連絡いたします。

一次申込締切	事務局開始	提出物締切：貴社情報	イベントサイト公開	集客開始	最終申込締切：セッションプラン	提出物締切：ご講演情報	最終申込締切：リストプラン	イベント開催	リストダウンロード	開催報告書
締切済み	10/9(金)予定	10/22(木)予定	10/29(木)予定	11月上旬予定	11/2(月)	11月中旬予定	11/25(水)	12/2(水)	開幕初日よりDL可能	2026年1月中旬予定
ご出展意思を担当営業にお伝えください。 後日弊社より発注書を送付いたしますのでDocuSignにご署名のうえご返送ください。		**セッションプラン** • 貴社ロゴデータ • 講演情報 • 企業情報 • セッション登録用紙 **リストプラン** • 貴社ロゴデータ • 企業情報 上記を事務局へ提出いただきます。 詳細は事務局よりご案内させていただきます。		視聴希望者の事前登録を開始いたします。 登録・視聴促進の為、 ギフトカードなどのプレゼント施策を行う場合がございます。		**セッションプラン** **＜録画配信の場合＞** • 講演録画データ(mp4形式) • 講演用データ(ppt/pptx形式) • アンケート • 配布資料 • 講演者写真 **＜ライブ配信の場合＞** • 講演用データ(ppt/pptx形式) • Poll（投票） • アンケート • 配布資料 • 講演者写真		終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。		開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

※予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

© ITmedia Inc.

ご留意事項

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル　　：契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル　　：契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、
当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク２：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声が途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク３：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク４：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

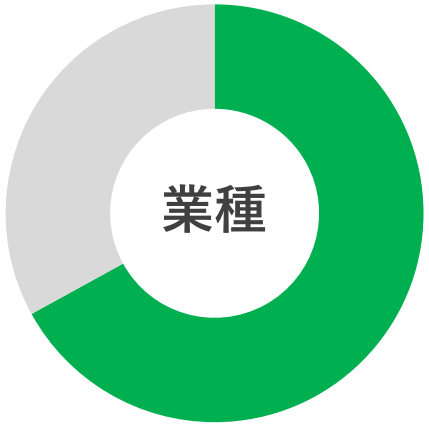
リスク５：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
  視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
  配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

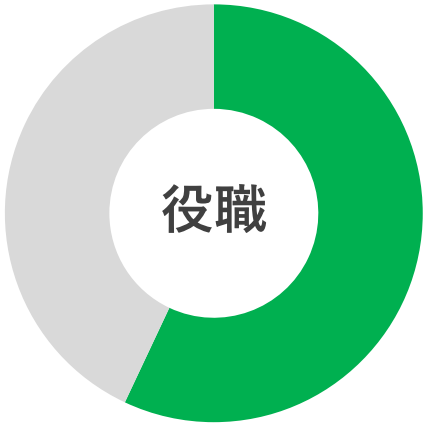
© ITmedia Inc.

@IT
“ビジネスを変革する”
ITエキスパートのための技術専門メディア

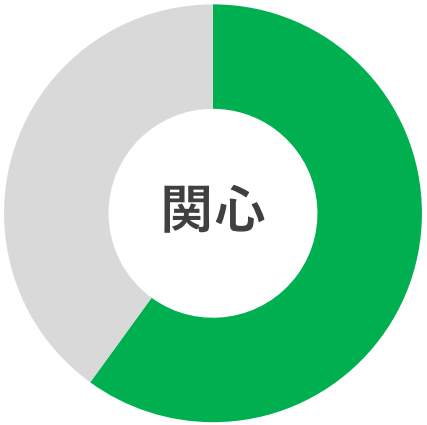
■媒体資料　https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-10-14/tlw6gn
■URL　https://atmarkit.itmedia.co.jp/
■ PV　約326万 PV/月　約179万 UB/月　※2026年1月実績
■メルマガ購読数　約59万件　※2026年1月実績



ユーザー企業 約67%



係長クラス以上 約57%



AIを組み込んだアプリケーションや
サービス開発に関わっている 約60%

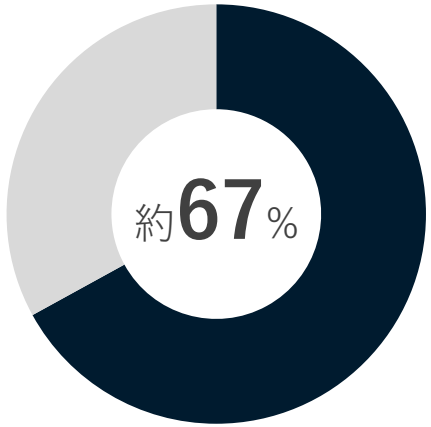
※@IT読者意識調査 2026年2月「AI開発運用編」

© ITmedia Inc.

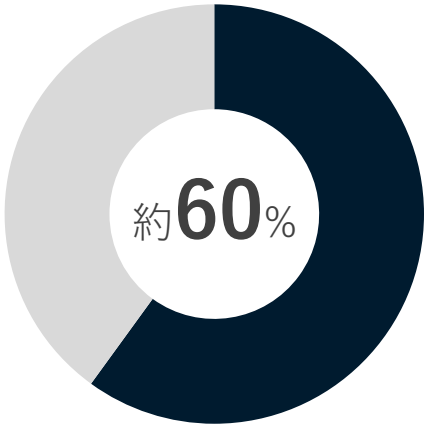
ITmedia NEWS

イノベーターが最初に読む”ファーストメディア“

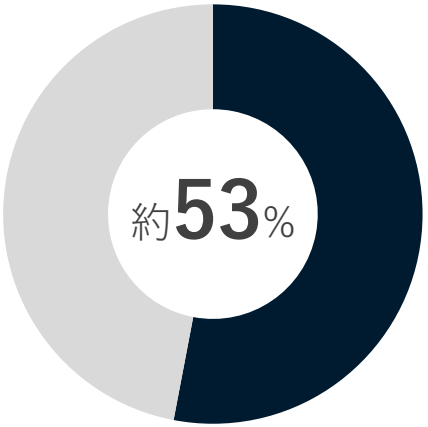
- 媒体資料　https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-09-30/sx3yyj
- URL　https://www.itmedia.co.jp/news/
- PV/UB　約980万 PV/月　約370万 UB/月
- メルマガ購読数　約4.3万件
- Xアカウント　約35万フォロワー



新規プロジェクト
に関与



製品導入
に関与



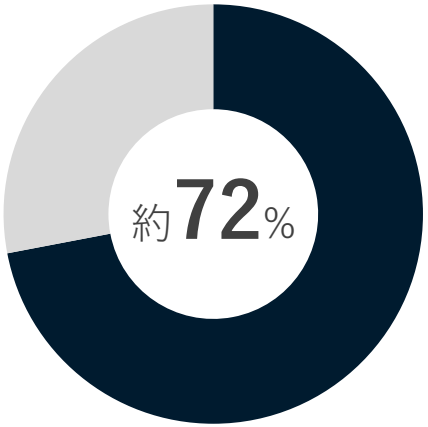
係長以上の役職者

※2026年4月実績

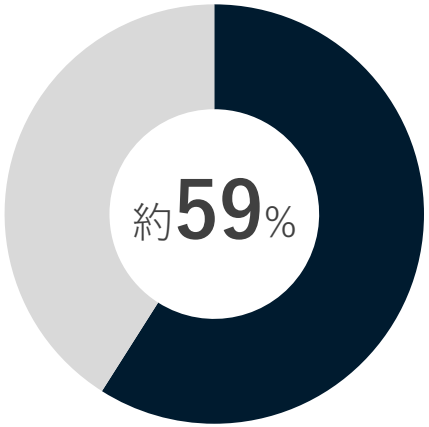
© ITmedia Inc.

ITmedia AI＋
国内最大級のAI専門情報サイト

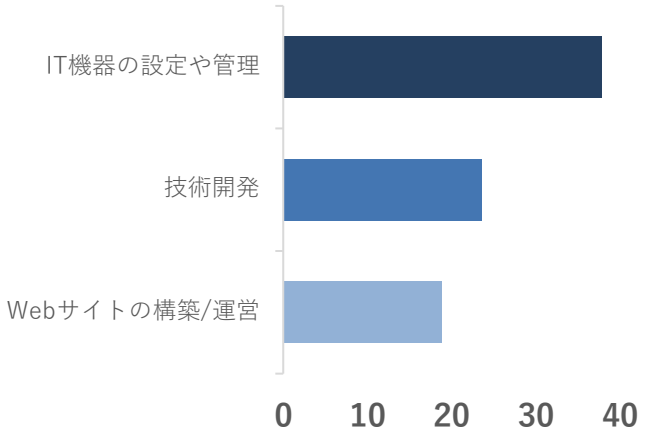
- 媒体資料　http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-05/2czrdfg
- URL　https://www.itmedia.co.jp/aiplus/
- PV/UB　約250万 PV/月　約113万 UB/月　※2026年3月実績
- ターゲット　**生成AIの「ビジネス活用」に関心を持つ読者**



AI活用状況が増加した
と感じる



係長以上の役職者



IT機器の設定・管理に携わる 約38%

※「ITmedia AI+読者プロフィール調査」 2025年4月実施より抜粋

© ITmedia Inc.

Digital Event

デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部
〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）
https://promotion.itmedia.co.jp/contact

デジタルイベントの最新情報はこちら